

令和 7 年度大田区高齢者等実態調査の結果について

1 調査目的

令和 9 年度から令和 11 年度を計画期間とする、「おおた高齢者施策推進プラン～大田区高齢者福祉計画・第 10 期大田区介護保険事業計画・大田区認知症施策推進計画」（以下、「プラン」という）の策定に向けた基礎資料とするため、区の高齢者福祉サービスや介護サービスに対する意見・意向等を把握し、今後の事業展開等を検討することを目的とした調査を行った。

2 調査期間

令和 7 年 11 月 7 日（金）から令和 7 年 12 月 1 日（月）まで

3 調査種類及び回収件数等

調査種類	回収件数			有効回答 件数	有効 回答率
	回答方法	件数	合計		
①高齢者一般調査	郵送	3,332 件	3,860 件	3,860 件	68.9%
	電子申請	528 件			
②要介護認定者調査	郵送	1,648 件	1,868 件	1,686 件※	52.7%
	電子申請	220 件			
③第 2 号被保険者調査	郵送	384 件	703 件	703 件	54.1%
	電子申請	319 件			
④未把握高齢者世帯等調査	郵送	631 件	686 件	686 件	85.8%
	訪問	55 件			
⑤介護サービス事業者等調査	電子申請	385 件	385 件	385 件	64.2%

※回答者のうち施設入所者や病院入院者等を本調査の対象外（無効回答）とした。

4 調査結果の概要

本調査の結果から、以下の課題が抽出された（詳細は報告書概要版のとおり）。今後、次期プランの策定において本調査結果を活用していく。

(1) 生きがい、役割

高齢者の社会参加に関すること、介護予防・フレイル予防に関すること、認知症施策推進に関すること

(2) 自分らしい暮らし

自立支援・重度化防止の取組みに関すること、在宅での生活の継続に関すること、介護サービス事業所の提供体制に関すること

(3) つながり、安心

高齢者の見守り・孤立に関すること、住まい・災害時に関すること、尊厳の確保に関すること